

美容医療を形成外科医の視点で冷静に捉え、
効果と質にこだわった最善の治療を提供



四谷見附クリニック
吉川 嘉一郎 院長
KAICHIRO YOSHIKAWA

形成外科 | 皮膚科、美容外科、美容皮膚科

四ツ谷駅

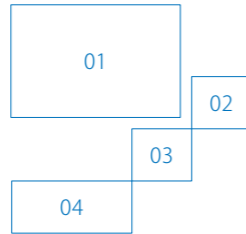
☎ 03-5360-7711 休 水・日・祝
📍 新宿区四谷 1-5 東交ビル 4F
Map P.000 X-0 Clinic Data P.000

— Profile —

慶應義塾大学医学部卒業後、同大学形成外科学教室入室。群馬県立がんセンター頭頸科、埼玉医科大学総合医療センター形成外科などで、外傷患者の皮膚や顔面の手術、血管の縫合手術など数多くの手術経験を積み、都内の美容外科クリニック副院長を経て、2011年に開業。2児のパパでもある。



01. ダークブラウンの木目が美しい、ラグジュアリーな雰囲気
02. 患者の要望を丁寧に聞き取り、最適な治療法を提案
03. 明るいライティングで治療前後の洗顔、メイクもより快適に
04. 美肌治療に使用する機器は効果の高いものを専門医の目で厳選



ドクターの得意な
治療・検査を知りたい

外科的治療に加えて、吉川先生が力を注ぐのが肝斑やしみ、くすみ、そばかすまで消し去る美肌治療「レーザートニング」だ。数年前までレーザーはご法度とされてきた肝斑の治療。吉川先生はレーザートニングが登場した当初から治療に携わってきたレーザー専門医とあって、経験に基づいたレーザー照射の調整技術の高さは折り紙つき。肝斑の状態に応じて照射の出力や密度、重ね打ち回数、施術角度を見極め、着実に成果を上げている。「肌

の色むらがなくなるほか、毛穴の引き締め効果で化粧のりもよくなります。肝斑がない方にも喜ばれ、リピーターも増えています」と吉川先生。自身とスタッフも体験し、その効果に太鼓判を押す。



レーザートニングは肝斑の改善だけでなく、肌の若返りにも効果的

病気なら保険適用
美容目的なら保険外と
明かなスタンスを貫く

美容医療は不明朗な価格設定や安全面でネガティブなイメージを持たれがちにだけに、「患者様にとって本当に効果とメリットのある治療をまじめに考え、実践したい」と語る吉川院長。病気なら保険適用、美容目的なら保険外という明かなスタンスを貫いた上で、患者の希望する治療が本当にその患者にとって有効かどうかを冷静に見極め、不要な治療を望む患者には客観的な理由を挙げて歯止めをかけることも辞さないという。「ケガややけどを負った顔や皮膚を治す形成外科医療は、いわばマインナからゼロに戻す治療。そして、美容はそのゼロからさらに伸びるベクトル上をプラスへ進める治療だけに、そこには上限というものはありません。だからこそ患者様の満足に結びつく最適な治療を見極める目を大切にしていきたいですね」

Interview

形成外科で数多くの難手術を手がけたキャリアを持つ「四谷見附クリニック」の吉川嘉一郎院長。日本形成外科学会認定専門医として培った繊細な手技で、効果と質にこだわった美容医療を提供し、着実に患者層を広げてきた。形成外科で取り扱う眼瞼下垂（がんけんかすい）など目元の手術のほか、繊細な技術を要する顔のたるみ治療手術にいたるまで、その高度な技術力に定評がある。

上まぶたが下がって視界が狭くなる眼瞼下垂は加齢によるもののほか、ハードコンタクトレンズの長期使用も原因の一つと言われ、クリニックには10代から80代まで幅広い年齢層の患者が訪れている。

「目の周辺は常に人目に触れるため、ちょっとしたアンバランスが顔の印象に直結してしまうもの。左右の仕上りのバランスには特に気を遣っています」

何度手術をしてもまぶたがうまく上がらないといった難症例の患者が遠方から訪れるケースも目立つようになったという。たるみ治療のフェイスリフトでは、単に引き上げるだけでなく、傷あとの目立たない丁寧な縫合技術により自然な仕上がりを実現。その技は、まさに形成外科の真骨頂だ。

日本レーザー医学会認定専門医・指導医でもある吉川先生はしみ、くすみ、肝斑（かんぱん）など美肌治療にも造詣が深く、院内に効果的なレーザー治療機器を厳選。吉川先生は「レーザー治療に